

愛媛県町村会長賞 レポート部門
「松山のきそを作った加藤嘉明と松山城」
松山市立余土小学校 第4学年 西尾 理玖

松山のきそを作った



加藤嘉明
と
松山城



松山市立余土小学校 4年
西尾 理玖

3. 加藤さんってどんな人だったんだろう？

加藤嘉明は戦国時代から、江戸時代前期までを生きた武将大名です。

誕生日時期：1563年1月15日

死亡時期：1631年10月7日

愛媛県「松山城」の築城者でもあります。



1563年、加藤嘉明は、三河国幡豆郡永良郷(現・愛知県)で松平家康(後の徳川家康)の家臣であった加藤教明の長男として誕生します。

加藤嘉明の幼名は孫六で、生誕月日は

1月15日です。

加藤嘉明が生まれた年に、三河一向一揆が起こり、加藤嘉明の父教明が徳川家康に背き一向一揆に加担します。しかし敗れたため、加藤嘉明は流浪の身となります。

加藤嘉明は、流転の後に、近江国に渡り、13歳のとき羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)に仕えます。このころから加藤嘉明は、加藤姓を名乗るようになったといわれています。

1583年、しずがたけのたたかいで加藤嘉明は、七本槍の一人としてせんこうをあげ、一気に3000石を与えられます。

1584年には、小牧・長久手のたたかいとさいかせめに従軍します。